

2019

12/1

December
No.337

市報

やまぐち



■ 私のふるさと山口市の 2019 年を振り返る。	2
■ 地域の一大ニュース	4
■ 平成 30 年度決算報告	6
■ 平成 30 年度の人事行政の運営等の状況報告	10
■ 市政トピックス	12
■ 山口県央連携都市圏域 「山口ゆめ回廊」	13
■ 国際交流員コラム 「ホストタウンってしっちょる？」	13

1 月の市報やまぐちは 1 日号と 15 日号の合併号として 1 月 8 日に発行します。

2019年を振り返る。

皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか。今年、平成の時代から令和の時代につながる、歴史的に意義深い年でした。本市では、今年を「つなぐ 未来創造」の年と位置づけ、今日までのまちづくりと未来へのまちづくりをつなぐ、積極的な基盤整備や事業展開を行い、定住実現都市づくりに取り組みました。

今後、「任んでよかった これからも住み続けたい」と市民の皆さんが心から思えるまちづくりの実現に向け、新たな時代を拓く挑戦を続けてまいります。

問 広報広聴課 ☎083-934-2753

1月

■小郡文化資料館が入館者数30万人を達成(19日) ■山口市観光大使として留学生が着任(21日)

2月

■「山口ゆめ回廊」のロゴマークが決定(写真1) ■キリンビール株式会社小郡都市核にオフィス設置を決定(14日) ■中原中也記念館開館25周年記念セミナーを開催(20日)

3月

■南部地域の地域おこし協力隊として田中愛生隊員、平塚海渡隊員、中岡佑輔隊員が着任(1日) ■「狐の足あと」の入館者数が50万人に到達(4日) ■やまぐち新進アーティスト大賞10年展を開催(10日) ■長谷ポンプ場の完成披露式を開催(15日) ■3.11震災対応総合訓練を実施(16日) ■中央図書館がリニューアルオープン(23日) (写真2) ■「山口ゆめ回廊博覧会」実行委員会第1回総会が開催(29日)

4月

■徳地地域に移動期日前投票所を導入(2日) ■山口市産業交流拠点施設建設工事の起工式を開催(5日) ■第24回中原中也賞を井戸川射子氏に贈呈(29日)



【写真2】リニューアルした中央図書館は、ふた付きの飲み物を持ち込めるようになり、エントランスエリアに「交流スペース」を新設するなど、よりくつろげる落ち着いた空間となりました。

5月

改元「平成」から「令和」へ
新たな時代が幕を開け、市全体が祝賀ムードに包まれる(1日) ■阿東地域の地域おこし協力隊として岸本和寿隊員が着任(15日) ■第6回山口市景観賞表彰式を開催(19日) ■ツール・ド・ヤマグチ湾を開催(26日) ■新・小郡地域交流センターの供用を開始(27日) ■サッポロビール株式会社がSL「やまぐち」号運行開始40周年記念缶を発売(28日)



【写真3】スペイン代表チームの歓迎セレモニーのひとつ。あじす保育園の園児たちがダンスを披露した後、紙で作った金メダルをプレゼントしてお祝い、会場には笑顔が溢れました。

10月

■子ども医療費助成制度の対象を拡大、小学4年生から6年生までの所得制限を撤廃(1日) ■湯の香通りがリニューアルオープン(15日) (写真6) ■新・二島地域交流センターの供用を開始(21日) ■株式会社サカイ引越センターが事業所の増設を決定(23日)



【写真6】湯の香通りは、松田屋ホテルとユウベルホテル松政の間に位置する通りです。足湯に加え手湯も整備され、より気軽に湯田温泉の美肌の湯に触れることができるようになりました。

11月

■錦の御旗製作所跡ポケットパークがオープン(1日) ■山口文化協会創立50周年記念事業・山口市民文化祭を開催(2日) ■総社市と交流事業に関する協定を締結(6日) ■阿東保健センター(増設部分)の供用を開始(22日) ■大内氏遺跡指定60周年(27日)

7月

■美濃ヶ浜浜海広場がオープン(7日) ■山口市観光アンバサダーとして大学生6人が着任(8日) ■株式会社レックカスグループが進出を決定(8日) ■山口市介護サービス提供事業者連絡協議会と災害時等における相互応援に関する協定を締結(8日) ■薩長同盟日本酒プロジェクト第2弾、清酒「ふれんど」を発売(18日) ■中市まちなか広場「なかぴあ」がオープン(20日) ■新山口駅北口駐車場の供用を開始(22日)



【写真4】本市の観光地とレノ丸をあしらったこのラッピング列車に乗車して、スタジアムに足を運んでレノファ山口を応援しましょう！

8月

■SL「やまぐち」号運行開始40周年(1日) ■新・佐山地域交流センターの供用を開始(5日)

9月

■山口市観光周遊1日乗車券の販売を開始(1日) ■レノファ山口FC 応援・おいでませ山口市PRラッピング列車が運行開始(1日) (写真4) ■市立中学校、幼稚園の普通・特別教室で空調設備の供用を開始(1日) ■国際交流員として台湾出身の呉心儀さんが新たに着任(2日) ■道の駅「長門峡」がリニューアルオープン(14日) (写真5) ■山口市観光PR動画「アートで観るやまぐち」を発表(24日) ■骨髄バンクドナー応援窓口を設置(24日) ■小郡図書館



【写真5】新鮮な地元産野菜等を販売している「展示即売室棟」や「いっぶくテラス」と名付けた屋外スペースを設け、川のせせらぎや山・川の四季折々の風景を楽しみながらひと休みすることができます。

ピックアップ

「平成」から「令和」へ

祝賀ムードに包まれる



天皇陛下御即位に伴い、5月1日から6日までの6日間、山口総合支所1階ロビーに記念帳所を設け、多くの市民の皆さんからの祝意をお受けしました。また、令和初日の

5月1日に山口総合支所と小郡総合支所に設置した婚姻届の受領窓口には、66件の婚姻届が提出されました。晴れて夫婦となるお二人の記念となるよう、会場に特設パネルを設置してお迎えし、記念写真を撮影してお祝いしました。その他、文化関連施設の無料公開を実施するなど、市全体が祝賀ムードに包まれました。

山口市産業交流拠点施設の 建設工事が始まる



写真は施設東側から見た完成イメージ。山口市産業交流拠点施設は「出会う つながる 生まれる ひろがる」を全体コンセプトに掲げ、最大2千席の収容能力を有する多目的ホールを中心に、交流とにぎわい、新たなビジネスを創出する「産業交流拠点」です。令和3年4月の供用開始に向け、施設整備を進めています。市では今後も新山口駅周辺を産業交流拠点と位置づけて、山口県ナンバーワンのビジネス街の形成を目指してまいります。

山口市観光 PR 動画

「アートで観るやまぐち」を発表



「アート(芸術・文化)」と「イート(食)」を切り口とした観光PR動画を制作しました。阿東、徳地、秋穂、阿知須、山口・小郡のそれぞれの地域を題材に5つあり、皆さんおなじみの本市出身の卓球日本代表・石川佳純選手をメインに、世界的に活躍しているアーティストや地域の調理人の方々などに出演していただきました。

地域の一大ニュース

各地域から届いた、市内 21 地域の今年いちばんの話題を写真と共に紹介します。世代間の交流を促す活動、新たなイベントへの挑戦、各施設の新設・整備など、ふるさとを盛り上げようという地域の力を感じるニュースがたくさんありました。

☎ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

大 殿 築山跡 樹木整理でスッキリ

6月、築山跡北西部にうっそうと生い茂っていた樹木を伐採しました。史跡大内氏遺跡保存活用計画の一環として行ったもので、引き続き関連史跡の整備が続きます。



白 石 明治維新コラム冊子を作成

明治維新150年記念事業として2014年から約5年間、58回にわたり地域づくり広報紙に連載された、白石地区周辺の幕末維新関連のコラムをまとめた冊子を9月に刊行しました。



湯 田 防災意識、グッと高まる

9月29日に総合避難訓練と、ふれあい安心安全フェスタを開催しました。9月の最終日曜日を「湯田地区防災の日」と位置づけ、みんなで防災意識を高めることを目指しています。



仁 保 道の駅「仁保の郷」リニューアル

道の駅「仁保の郷」が店内の改修工事を終え、4月にリニューアルオープンしました。10月には誕生祭に合わせて駐車場の拡張工事も行い、駐車台数が増え利用しやすくなりました。



小 鯖 青色防犯パトロール隊が発足

地域づくり協議会を中心に青少年育成協議会や小鯖っ子見守り隊のメンバーで、青色防犯パトロール隊を8月7日に発足しました。週一回、小学校の下校時に地区内を巡回します。



大 内 大内まつり大盛況

4月21日、第41回大内まつりを開催しました。今年は県立山口中央高校の合唱部とオーケストラ部が初参加し、例年にも増して多くの方が来場され、大いに盛り上がりました。



宮 野 宮野財産区議会の議員が決定

次代に豊かな森林を引き継ぐため、持続的な森林経営に取り組む宮野財産区議会は、4月21日執行の一般選挙において、12人の議員を決定し、新たな4年間の任期をスタートしました。



吉 敷 「よしきホテルのタベ」初開催

6月に開催したホテルの鑑賞イベント「よしきホテルのタベ」を通じて、地域への関心や愛着を深めるとともに市民同士が交流しました。赤田神社のホテルの幻想的な乱舞を楽しみました。



平 川 「郷土史ふるさと平川」刊行

郷土への愛着がより一層育まれることを願い、平川地域のあゆみをまとめた「郷土史ふるさと平川」を9月に刊行しました。6年の歳月をかけて編纂した大作です。



大 歳 さわやか第2学級完成

大歳小学校内に放課後児童クラブ「さわやか第2学級」の建物が完成。4月から定員も増え、さわやか学級・第2学級をあわせて133人の児童があたたかな雰囲気の中で楽しく学んでいます。



陶 三世代交流！陶小学校ふれあい広場開催

平成29年から2年かけて製作し、昨年末に完成した「陶ふるさとカルタ」。そのカルタを手札サイズに再印刷し、三世代246人が参加した6月2日のカルタ大会は大変盛り上がりしました。



鑄 銭 司 アサギマダラ写真コンテストを開催

長沢池周辺には「旅する蝶」アサギマダラが飛来します。この蝶を目当てに毎年多くの人々が訪れることから、今年は初めての写真コンテストを10月に開催。市内外から応募がありました。



名 田 島 名田島小グラウンド芝生化5周年

9月15日、芝生化5周年記念イベントとして、靴飛ばし大会や「芝生化5周年のあゆみ」のライドショー等が行われ、最後は芝生に座って大迫力の映画鑑賞を楽しみました。



二 島 二島地域交流センター完成

10月21日に供用開始。11月10日に落成記念式典を行いました。旧センターの41年間の歴史が新センターに引き継がれ、令和の時代とともに歩み出しました。



嘉 川 山口市駅伝競走大会4連覇

1月14日、山口市駅伝競走大会の体協の部（17チーム）において、嘉川チームが優勝を果たしました。5人のうち、2人が区間賞を獲得し、平成28年から4連覇を成し遂げました。



佐 山 佐山地域交流センター完成

8月5日に供用を開始。8月25日に落成記念式典を行い、佐山小学校児童による金管バンドの演奏等で盛りあがりしました。木材を用いて、温かみのある建物となっています。



小 郡 小郡地域交流センター完成

5月27日に供用開始。6月2日に落成記念式典を行い、小郡婦人会による緞帳の寄付や、ふしの岩戸太鼓保存会の演奏、もちまき、山頭火鍋の振る舞い等で地域みんなで祝いました。



秋 穂 あいおえび祭り世界選手権大会

9月1日、秋穂の夏の風物詩、あいおえび祭り世界選手権大会を開催しました。40倍を超える確率で当選を勝ち取った1,600人の皆さんが、約17,000尾の車えび争奪を競いました。



阿 知 須 庁舎メモリアルフェスティバル開催

8月17日、建て替えに伴う庁舎の解体前に50年間地域とともに歩んだ思い出と感謝、地域の更なる発展を願い、新庁舎への期待を込めて総合支所周辺で開催しました。



徳 地 石風呂の定期焚きが始まる

約830年前の奈良東大寺の再建時に造られ、国の重要有形民俗文化財に指定されている「岸見の石風呂」で定期焚きが始まり、毎月第3日曜日に石風呂を体験することが出来るようになりました。



阿 東 道の駅「長門峡」がリニューアルオープン

9月14日、道の駅「長門峡」がリニューアルオープン。展示即売コーナーや休憩スペースなどを拡大し、授乳室やキッズコーナーなどを新たに設け、誰もが快適に過ごせる空間になりました。



市民1人当たりに使われるお金は
41万5,341円

【内訳】

民生費
児童、高齢者、社会全体の福祉のために
14万5,029円

総務費
市の運営や地域の振興のために
5万7,193円

土木費
道路や公園の整備などのために
5万2,126円

衛生費
生活環境の充実のために
2万9,107円

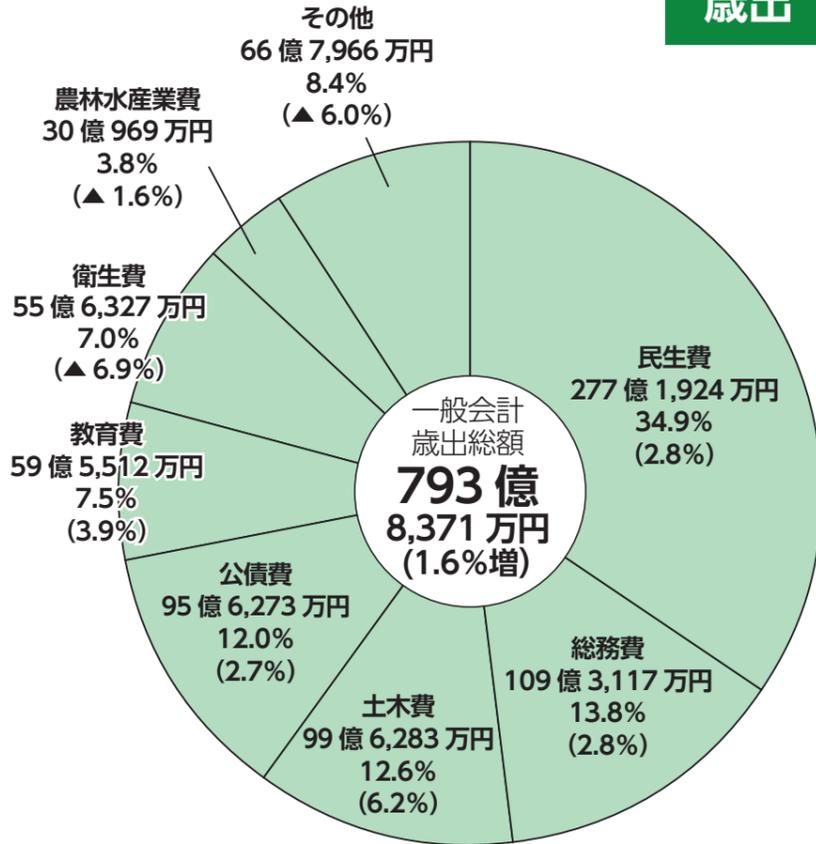
教育費
学校、社会教育のために
3万1,158円

農林水産業費
農林水産業の振興のために
1万5,747円

公債費
市債の償還のために
5万33円

その他
(議会費、災害復旧費、労働費など)
3万4,948円

歳出



【表2】市債の状況

区分	平成30年度末現在高	市民1人当たり現在高
一般会計	1,047億7,052万円	54万8,167円
特別会計	27億3,888万円	1万4,330円
合計	1,075億940万円	56万2,497円
3月末現在高に対する利息	37億8,038万円	1万9,779円

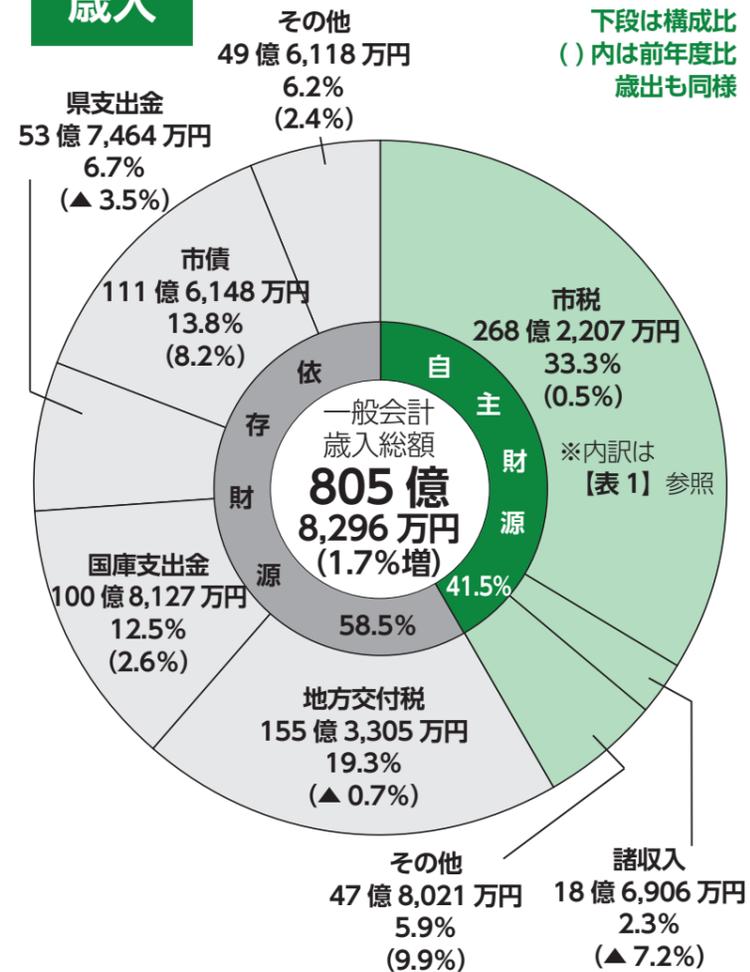
※利息については、利率見直し等により変動します。

歳出

民生費は、市立保育園施設整備事業費の増などにより、前年度と比べ約7億5千万円増の277億1,924万円になりました。総務費は、地域交流センター建設事業費の増などにより、前年度と比べ約3億円増の109億3,117万円になりました。土木費は、新山口駅北地区拠点施設整備事業費の増などにより、前年度と比べ約5億8千万円増の99億6,283万円になりました。公債費は、長期債償還元金の増により、前年度と比べ約2億5千万円増の95億6,273万円になりました。

平成30年度市税の決算内訳は「表1」のとおりです。
平成30年度末の市債（借金）の状況は「表2」のとおりです。

歳入



【表1】市税の内訳

税目	平成30年度決算額	構成比 (%)	前年度比 (%)	市民1人当たり金額
個人市民税	99億6,508万円	37.2	1.0	5万2,138円
法人市民税	27億1,785万円	10.1	4.1	1万4,220円
固定資産税	108億8,906万円	40.6	▲0.4	5万6,972円
軽自動車税	5億4,724万円	2.0	3.7	2,863円
たばこ税	11億5,020万円	4.3	▲1.3	6,018円
入湯税	7,960万円	0.3	0.4	417円
都市計画税	14億7,304万円	5.5	▲1.0	7,707円
合計	268億2,207万円	100.0	0.5	14万335円

歳入

市税は、個人および法人市民税の増などにより、前年度と比べ約1億5千万円増の268億2,207万円になりました。地方交付税は、合併による財政支援措置の通減などにより、約1億1千万円減の155億3,305万円になりました。

平成30年度当初予算額は871億5千万円で、決算額は歳入が805億8,296万円、歳出が793億8,371万円となりました。歳入から歳出を差し引いた11億9,925万円から令和元年度へ繰り越した4億5,564万円を差し引いた7億4,361万円が実質的な黒字になります。

一般会計

市民1人当たり換算すると
42万1,615円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

17万5,124円

市税 14万335円

諸収入
預金利子や市が融資した貸付金の返済金など
9,779円

その他(分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金)
2万5,010円

国や県を経由する収入
(依存財源)

24万6,491円

地方交付税
市町村間の財源の均衡を図るため、国が交付するお金
8万1,270円

国庫支出金 一定の事業について、国が負担するお金
5万2,746円

県支出金 一定の事業について、県が負担するお金
2万8,120円

市債 市の借金
5万8,398円

その他(地方譲与税、各種交付金) 2万5,957円

平成30年度の決算が、令和元年第3回市議会定例会で認定されましたので、平成30年度歳入歳出の実績について、市民1人当たり置き換えてお知らせいたします。

※市民1人当たりの換算額は、平成31年3月31日現在の人口19万1,129人を基に算出

財政課 ☎083・934・2750

市の財政ってどうなっているの？

山口市の台所事情 ～ 1 カ月分の家計に例えると～

平成 30 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1 カ月分の金額は、30 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（ ）内は 30 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。本市の普通会計には、一般会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計が含まれます。



収入

給料	22 万 4,000 円 ①
(市税 268 億 2,207 万円)	
家賃収入	3 万 2,000 円 ②
(使用料及び手数料等 37 億 9,026 万円)	
パート収入	4 万 9,000 円 ③
(地方譲与税、各種交付金等 58 億 8,412 万円)	
親などからの協力・援助	28 万 4,000 円 ④
(地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 340 億 4,057 万円)	
貯金の利子	2,000 円
(財産収入 2 億 7,097 万円)	
自宅増改築等のための借入れ	6 万 9,000 円
(市債〈臨時財政対策債を除く〉83 億 1,810 万円)	
貯金の取り崩し	1 万 2,000 円
(基金繰入金 14 億 6,375 万円)	

収入合計 67 万 2,000 円
(合計 805 億 8,984 万円)

支出

食費・税金・社会保険料	11 万 4,000 円 a
(人件費 136 億 3,356 万円)	
医療費・養育費	13 万 1,000 円 b
(扶助費 157 億 8,033 万円)	
光熱水費・電話代等	9 万円 c
(物件費 107 億 4,318 万円)	
子どもへの仕送り	5 万 8,000 円 d
(繰出金 69 億 8,032 万円)	
町内会費、サークルや会合の会費	7 万 1,000 円 e
(補助費等 84 億 6,710 万円)	
ローンの返済	8 万円 f
(公債費 95 億 6,244 万円)	
自宅や借家の増改築、家電購入等	11 万 6,000 円
(普通建設事業費、災害復旧費、維持補修費 139 億 8,087 万円)	
貯金	2,000 円
(積立金 2 億 4,105 万円)	

支出合計 66 万 2,000 円
(合計 793 億 8,885 万円)

家計に例えると…

給料などに加えて、親からの協力・援助を活用して家計を賅っています。

支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 33 万 5 千円 (a + b + c)、子どもへの仕送りが 5 万 8 千円 (d)、町内会費やサークル等の会費が 7 万 1 千円 (e)、ローンの返済が 8 万円 (f) あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 66 万 2 千円になっています。

一方、収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 25 万 6 千円 (① + ②) ありますが、これだけでは

毎月の支出金額を賅うことができません。このため、毎月のパート収入 4 万 9 千円 (③) や親からの協力・援助 28 万 4 千円 (④) を活用してやりくりをしています。なお、毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。



基金の残高

区 分	平成 30 年度末 残高	市民 1 人当たり 現在高
財政調整基金	59 億 6,543 万円	3 万 1,211 円
減債基金	58 億 1,562 万円	3 万 428 円
その他特定目的 基金	149 億 843 万円	7 万 8,002 円
合 計	266 億 8,948 万円	13 万 9,641 円

財政調整基金

経済事情の変動等で財源が不足する場合に、年度間の財源の不均衡を調整するための基金

減債基金

地方債の償還を計画的に行うための基金

その他特定目的基金

大規模施設の整備などのための基金



【表 3】平成 30 年度特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1 人当たり 歳出金額
国民健康保険	209 億 1,659 万円	▲ 12.0%	205 億 4,211 万円	▲ 9.2%	10 万 7,478 円
後期高齢者医療	29 億 9,389 万円	3.6%	29 億 7,923 万円	4.1%	1 万 5,587 円
介護保険	171 億 7,416 万円	0.7%	167 億 685 万円	0.0%	8 万 7,411 円
介護サービス事業	4,232 万円	▲ 19.4%	4,226 万円	▲ 13.9%	221 円
駐車場事業	5,795 万円	▲ 1.9%	3,545 万円	▲ 6.5%	185 円
鑄銭司第二団地 整備事業	681 万円	皆増	681 万円	皆増	36 円
簡易水道事業	7 億 8,716 万円	▲ 13.7%	7 億 8,716 万円	▲ 12.4%	4,118 円
地域下水道事業	594 万円	▲ 1.7%	514 万円	▲ 8.0%	27 円
国民宿舎	7,923 万円	12.8%	7,923 万円	12.8%	415 円
特別林野	1,005 万円	▲ 9.4%	911 万円	▲ 7.2%	48 円
合 計	420 億 7,410 万円	▲ 7.3%	411 億 9,335 万円	▲ 5.8%	21 万 5,526 円

特別会計は、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。平成 30 年度特別会計の歳入歳出決算は、次の【表 3】のとおりです。

特別会計

将来のまちづくりと持続可能な財政基盤の確立に向けて

本市では、合併以降、未来を確かにするためのまちづくりに積極的に取り組みながら、市債の返済などに備えた基金も積み立ててきました。

一方で、合併から 10 年以上が経過し、今後、合併した自治体に対する国の財政支援措置が終了するとともに、人口減少や少子高齢化の進展に対応した社会保障関連経費など、今後必要となる多様な行政サービスの確保に向けた経費が増加するため、今後の財政運営は厳しくなる見通しです。

このような状況を踏まえ、持続可能な財政基盤の確立を図るため、平成 30 年 3 月に策定した「財政運営健全化計画」に基づき、今後も引き続き、歳入・歳出両面から行財政改革の取り組みを進めていきます。

※「山口市の台所事情」や「財政運営健全化計画」など、詳しくは市ウェブサイトに掲載しています。

山口市 財政

平成30年度の人事行政の運営等の状況報告

(1) 職員の任免と職員数に関する状況

① 採用・退職者数 (単位：人)

時 点	行政事務等	土 木	保健師	保育士・幼稚園教諭	消 防	文化財主事	建 築	環境衛生整備員	給食調理員等	社会福祉士	その他*1	合 計	【参考】再任用職員
29年度退職者数	23	2	3	10	1	0	2	1	4	2	2	50	25
30年度採用者数	31	2	3	10	4	0	1	0	4	0	1	56	21
増減数	8	0	0	0	3	0	▲1	▲1	0	▲2	▲1	6	▲4

② 職員数 (単位：人)

時 点	行政事務等	土 木	保健師	保育士・幼稚園教諭	消 防	文化財主事	建 築	環境衛生整備員	給食調理員等	社会福祉士	その他*1	合 計	【参考】再任用職員
平成29年4月1日	901	142	52	139	235	8	28	76	75	8	23	1,687	52
平成30年4月1日	909	142	52	139	238	8	27	75	75	6	22	1,693	48
増減数	8	0	0	0	3	0	▲1	▲1	0	▲2	▲1	6	▲4

③ 障がい者雇用率 ※1 介護福祉士、電気、水質管理等の職種

平成30年6月1日	1.38%
-----------	-------

(2) 職員の競争試験と選考による採用状況(平成30年度実施 平成31年4月1日採用) (単位：人)

区分	競争試験			選考	計
	大学卒業程度	短大卒業程度	高校卒業程度		
行政職	23		6	3	32
技術職	5				5
技能職				3	3
専門職	5	9		6	20
消防	2		3		5
計	35	9	9	12	65

技術職…土木、文化財主事、建築、電気、水質管理等
 技能職…環境衛生整備員、給食調理員
 専門職…保健師、保育士・幼稚園教諭、社会福祉士、介護福祉士等

(3) 職員の給与状況

① 人件費の状況(平成30年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(平成31年3月31日現在)	歳出額(A)	実質収支額	人件費(B)	人件費率(B/A)
人 191,129	千円 79,388,851	千円 744,886	千円 14,019,253	% 17.7

※人件費には、特別職に支給する給料・報酬を含みます。

② 職員給与費の状況(平成30年度普通会計決算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末手当 勤勉手当	給与費計(B)	
人 1,520	千円 5,989,648	千円 1,254,251	千円 2,445,874	千円 9,689,773	千円 6,375

※職員手当には、児童手当と退職手当は含みません。職員数は、平成30年4月1日現在の人数です。給料の0.3～2.2%減額を行っています。

③-1 職員手当の状況

区 分		山 口 市	国
期末手当 勤勉手当 (30年度支給割合)	期末手当 勤勉手当 職制上の段階、職務の級等による加算措置…有 ()内は、再任用短時間勤務職員に係る支給割合です。	2.6月分(1.45月分) 1.85月分(0.9月分)	同左
退職手当 (支給率)	勤続20年 勤続25年 勤続35年 最高限度額 【その他加算措置】 ・定年前早期退職特例措置	自己都合 19.6695月分 28.0395月分 39.7575月分 47.709月分 勸奨・定年 24.586875月分 33.27075月分 47.709月分 47.709月分	同左
扶養手当	配偶者 子 配偶者、子以外の扶養親族 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子	9,500円 10,000円 6,500円 1人につき5,000円加算	6,500円 10,000円 6,500円 1人につき5,000円加算
住居手当	借家	3,000円～27,000円	借家(家賃12,000円以上)のみ 最高27,000円まで
通勤手当	交通機関支給限度 交通用具	65,000円 片道2～78kmを28区分し 3,500円～47,500円を支給	55,000円 片道2～60kmを13区分し 2,000円～31,600円を支給

職員の任用、職員数、給与、勤務時間その他の勤務条件など、平成30年度の人事行政の運営等の状況を公表します。これは、市の人事行政運営における公正性、透明性を高めるため「地方公務員法」「市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき公表するものです。

☎職員課 ☎083-934-2727

③-2 職員給与費の状況(特殊勤務手当・時間外勤務手当)

区 分	内 容	
特殊勤務手当	支給総額	79,460千円
	支給対象職員1人当たり平均支給年額	122千円
	職員全体に占める手当支給職位の割合	42.8%
※ 税務事務従事手当、環境衛生業務手当、福祉事務手当など17種類があります。		
時間外勤務手当	支給総額	456,420千円
	職員1人当たり平均支給年額	300千円

④ 一般行政職のラスパイレース指数※の状況

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
100.6	100.4	101.6	100.6	100.5

※ラスパイレース指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準です。また、参考値は、国の給与減額前でラスパイレース比較を行った場合の値です。

(4) 職員の休業に関する状況

休業制度については、育児休業および自己啓発等休業、配偶者同行休業などを設けており、それぞれの取得状況については右表のとおりです。

〈主な休業の取得状況〉	
休業種類	取得者数
育 児 休 業	57
育 児 部 分 休 業	22
自 己 啓 発 等 休 業	0
配 偶 者 同 行 休 業	0

(5) 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

① 勤務時間等について

区 分	内 容
勤務時間	8時30分～17時15分
休憩時間	12時～13時(1時間)
週休日	土・日曜
休 日	「国民の祝日に関する法律」に規定する休日と年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)

※交代制勤務の職場などは、上記と異なる場合があります。

② 休暇制度等について

区 分	内 容
年次有給休暇	1年につき20日間を付与。新規採用職員は15日間を付与
病気休暇	負傷や疾病のため療養する必要があり、勤務しないことがやむを得ないと認められる場合の休暇。公務による負傷・疾病、結核性疾患に該当する場合は1年、私傷病に該当する場合は90日を与えることができます。
特別休暇	結婚、出産、忌引など、特別の理由により勤務しないことが相当である場合の休暇

(6) 職員の分限・懲戒処分等の状況

「分限処分」は、公務の能率の維持を目的とした処分、「懲戒処分」は、職員が一定の義務違反を行った場合に責任を問うための制裁的処分です。

① 分限処分者数 (単位：人)

処 分	人 数	具体的事由
免 職	0	
降 任	0	
休 職	15	心身の故障のため
降 級	0	
合 計	15	

② 懲戒処分者数 (単位：人)

処 分	服 務 違 反 関 係	道 路 交 通 法 違 反	合 計
免 職	0	0	0
停 職	0	1	1
減 給	0	0	0
戒 告	0	3	3
合 計	0	4	4

※公務外の行為に対する処分を含む。

(7) 職員のサービスの状況

地方公務員法の規定により、次のような職務上の義務があります。

- ・法令等および上司の職務上の命令に従う義務
- ・信用失墜行為の禁止
- ・秘密を守る義務
- ・職務に専念する義務
- ・政治的行為の制限
- ・争議行為等の禁止
- ・営利企業等への従事制限

(8) 職員研修と勤務成績の評定の状況

① 職員研修について
 地方分権の進展による新たな業務に対応し、住民サービスを向上させるため、職員が個々の能力を一層高める必要があります。

区 分	内 容	受講者数
一般研修	一般職員や係長級などの各階層で要求される能力を習得するため、対象全職員に実施した研修	延べ327人 (9コース)
特別研修	政策形成研修、接遇研修など、広く市政全般に目を向けて実施した研修	延べ851人 (12コース)
派遣研修	高度な専門知識の習得、組織を支える専門家「スペシャリスト」の育成などを重視し派遣した研修	延べ116人 (62コース)

② 人事評価システムについて

平成23年度から本格実施しており、評価結果を配置、昇任、昇給等に活用しています。これらの取り組みにより、職員全員の意欲と能力を最大限に引き出し、活用することで、公務の効果的・効率的な運営を図ります。

(9) 職員の福祉と利益の保護の状況

① 安全衛生管理体制の状況
 「労働安全衛生法」「市職員健康管理規程」等の規定に基づき、安全衛生委員会と衛生委員会を設置し、快適な作業環境の整備、職員の安全と健康の確保などの労働安全衛生管理に努めています。また、毎月1回、産業医による健康相談・メンタルヘルス相談事業を実施しています。

② 福利厚生事業の状況

「地方公務員法」の規定に基づき、職員の元気回復のための事業等を計画的に実施するため「山口市等職員共済会(会員数1,741人)」を設置しています。毎月の職員の会費(給料の1,000分の2、計約1,389万円)を財源に各種給付事業を、市等からの交付金(約376万円)を財源に健康管理等を行っています。

③ 公務災害補償の状況

加入団体	公務災害	通勤災害	計
地方公務員災害補償基金山口県支部	15件	2件	17件

(10) 公平委員会の業務の状況

① 勤務条件に関する措置の要求の状況

3件

② 不利益処分に関する審査請求の状況

実績なし

山口県央連携都市圏域では、多彩なイベントを開催中。さらに多くの情報は右のQRコードから。



- 美祢市 萩市 津和野町
山陽小野田市 宇部市 山口市 防府市

美祢 シンポジウム
「秋吉台の赤土のひみつ～いったいどんな土なの？土が語る秋吉台の自然と歴史～」

日時 12月15日(日) 13時～16時30分
場所 秋芳ロイヤルホテル秋芳館
問 山口大学秋吉台アカデミックセンター ☎ 0837-62-0026

山陽小野田 やまぐち少年少女合唱祭

子どもたちの美しい歌声が重なり合い、様々な団体が参加します。最後には全団体での全体合唱を披露します。
日時 12月22日(日) 14時から
場所 不二輸送機ホール
問 不二輸送機ホール ☎ 0836-71-1000

萩 特別展「長州藩校一武士たちの学び舎」

江戸時代を通じて多くの人材を輩出した明倫館。創建300年を記念して、その歴史を、現在に伝えられた資料を通して紹介します。
日時 1月5日(日)まで 9時～17時
場所 萩博物館
問 萩博物館 ☎ 0838-25-6447

宇部 クリスマスフェスタ

クリスマスライブ、素敵な賞品が当たる大人気のクリスマス抽選会など、イベントが盛りだくさん。
日時 12月21日(土) 16時から
場所 ときわ遊園地
問 宇部市ときわ公園課 ☎ 0836-54-0551

津和野 レントゲン装置一式を一般公開しています

畑迫病院は、大正7年にレントゲン装置を導入しました。同時代のレントゲン装置一式の寄贈を受け、このたび一般公開します。
日時 12月15日(日)まで 9時～16時30分
場所 旧畑迫病院
問 旧畑迫病院 ☎ 0856-72-0338

防府 ソラールのクリスマス

クリスマスキャンドルづくりや、アンサンブルコンサート、アニメビデオの上映などを行います。
日時 12月21日(土)、22日(日) 9時30分～17時
場所 防府市青少年科学館ソラール
問 防府市文化振興財団 ☎ 0835-26-5050

福島県相馬市と福島市へ 支援物資を送りました

10月16日(水)、このたびの台風19号で大きな被害を受けた福島県相馬市へ向けて、支援物資(飲料水2リットルペットボトル6本入り200ケース)を送りました。これは、相馬市が市内全域で断水し、水が不足しているという情報を得たため、取り急ぎ市内の複数の量販店から飲料水を調達して送ったものです。

また、11月6日(水)には、同じく台風19号により大きな被害を受けた福島市から、備蓄している毛布が不足しているとの支援要請を受けたことから、災害時相互応援協定に基づき、毛布1000枚を送りました。被災地の皆さんに心からお見舞い申し上げます。早い復旧・復興をお祈りします。本市では、引き続き、



相馬市への支援物資をトラックへ積み込む様子

岡山県総社市と交流事業に関する協定を締結

11月6日(水)、室町時代の水墨画家・雪舟のゆかりの地である山口市と総社市は、観光や文化、産業分野などで連携し、相互の発展を目指すための協定を締結しました。両市はこれまで、雪舟ゆかりの自治体が集う「雪舟サミット」(現在、中国地方6市が参加)を通じて交流を深めてきました。2013年の山口・島根豪雨災害や昨年の西日本豪雨災害における相互の復旧支援により、両市の関係が強まったことから、この度、観光や産業の分野を含めた連携を進めてい

この大きな災害を一緒に乗り越えてまいりたいと考えています。
☎ 083・934・2723
防災危機管理課



福島市への支援物資を満載したトラック

TOPICS 市政トピックス



ウェブサイトでも公開中

くための相互協定を結びました。今後は来年の雪舟生誕600年を記念した取り組みをはじめ、これまで以上に連携を深めながら、お互いに特色あるまちづくりを進めていきます。

協定締結式では渡辺市長と総社市の片岡市長が協定書に署名し、握手を交わしました。渡辺市長は「市内の道の駅に総社市の物産を並べ、総社市の観光PRをすることで交流を深めたい。また、雪舟が生まれた総社市に市民が見学に行くなど、民間交流についても今後検討していきたい」と述べました。片岡市長は「この協定で実利を得て、さらにより関係を築いていきたい」と期待を述べられました。



協定書を手し、固い握手を交わす両市長



協定書に署名する渡辺市長(左)と片岡市長(右)

表紙の写真 表紙の写真を「次なる50年に向けて」

表紙の写真は、山口文化協会50周年記念事業として、11月2日に市民会館で開催された山口市民文化祭創作公演「BASARA」(変革や革新)の精神をテーマに、歌やダンス、驚流狂言など、分野や世代を越えたエネルギー溢るパフォーマンスで、観客を圧倒的な世界観に引き込みました。

このほか会場には、詩吟、邦楽、邦舞などの公演や俳句大会、華道の作品展示等、本市の文化芸術が集結しました。山口文化協会の方々がこれまで積み重ねられてきた半世紀の歴史の重みを感じるとともに、山口の文化が令和の時代を担う新しい世代に引き継がれ、次なる50年に向けての新たな展開が花開くことを確信しました。

若手からベテランまで、皆さん楽しそうに演じられている姿が印象的。



問 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

ホストタウンってしっちょる? vol.9
山口市国際交流員 エフライン
今回は、スペインのクリスマスについてご紹介します。
問 国際交流課 ☎ 083-934-2725

山口とスペインのクリスマス

日本初のクリスマスミサは山口で行われたという説から、「日本のクリスマスは山口から」と言われています。クリスマスというのは、本来キリスト教徒の神様、イエズスの誕生を祝う欧州諸国で最も重要な祭事です。スペイン人にとって、クリスマスは家族が必ず集まる大切な日となっています。

この大切な日に、子どもにプレゼントを配る人物は地域によって様々です。例えば、本市の姉妹都市であるパンプローナ市では、赤いサンタは登場せず「オレンツェロ」というバスク神話の炭屋さんが魔除けパレードに守られ、子どもに贈り物を届けています。そして、スペインのクリスマスは、花火やカウントダウンで祝う年越しを挟み、イエズスに東洋からプレゼントを届けた「三博士の日」(1月6日)まで続きます。その日は、各都市でパレードが行われ、翌朝、子どもは改めてプレゼントをもらいます。

山口とスペインの深い縁は、クリスマスという老若男女問わず一年で最も喜ばしいイベントでも結ばれているのです。

◀東洋の三博士(前列左から3人)。イエズスの元を訪れ、その生誕を祝ったとされる。

贈り物を届けるオレンツェロ(中央)



イベントカレンダー

12/1 (日)

クリスマス市セレモニー

所 山口サビエル記念聖堂
問 山口観光コンベンション協会
☎ 083-933-0088

クリスマスストリート

所問 山口新町商店街
☎ 083-925-3456

12/1 (日) ~ 3 (火)

やまぐち光誕祭

所 山口サビエル記念聖堂
問 山口クリスマス市プロジェクト
☎ 083-929-3947



12/1 (日) ~ 31 (火)

クリスマスカードコンクール作品展と徳地和紙で彩るクリスマス

所問 狐の足あと
☎ 083-921-8818

12/7 (土)、8 (日)

やまぐち・フィンランド・クリスマスマーケット

所 市民会館
問 県立大学国際文化学部
☎ 083-928-3423

12/14 (土)

親子ふれあいジャンボリー

所 維新百年記念公園維新大晃アリーナ
問 こども未来課
☎ 083-934-2797

人権ふれあいフェスティバル

所 山口南総合センター
問 人権推進課
☎ 083-934-2767

12/21 (土)

クリスマスナイトフェスティバル

所 阿東地域交流センター地福分館
問 実行委員会
☎ 083-952-0379



12/21 (土) ~ 24 (火)

大内の灯り in 雪舟庭

所 常栄寺雪舟庭
問 山口観光コンベンション協会
☎ 083-933-0088

12/28 (土)

あいお道の駅まつり

所 道の駅あいお
問 県央商工会秋穂支所
☎ 083-984-2738

1/1 (水・祝)

初日にちかう会・文殊岳

所 (集合) 文殊岳登山入口広場
問 ゆたかな串を育てる会
☎ 090-5375-3401

健康体力づくり鴻ノ峰新春登山

所 (集合) 木戸神社
問 スポーツ交流課
☎ 083-934-2875

元日登山・雨乞山

所 (集合) 小郡地域交流センター
問 小郡地域交流センター
☎ 083-973-0638

1/12 (日)

消防出初式

所 山口南総合センター
問 消防本部警防課
☎ 083-932-2202

開催中のイベント

12/25 (水) まで

新山口イルミネーション

所 新山口駅南北自由通路ほか
問 実行委員会
☎ 083-973-4274

12/27 (金) まで

開館1周年記念企画展

「寺内正毅展～少年隊士から宰相への道～」
所問 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

思いをひとつに

師走を迎え、今年も残すところ1カ月となりました。

今年は、新天皇の御即位や、ラグビーワールドカップにおける日本代表初の決勝トーナメント進出など、日本中が歓喜に包まれた一方で、東日本を中心に、台風や大雨による甚大な被害が発生しました。被災地では、住民やボランティア、行政などが力を合わせ、復興に向けた歩みを進めておられます。本市も、でき得る限りの支援を行ってまいりたいと思います。

さて、本市では現在、産業交流拠点施設をはじめ、多世代交流・健康増進拠点施設、新本庁舎や総合支所など、

市民の皆様の暮らしを豊かにし、拠点となるプロジェクトの整備に取り組んでおり、そうした中、幅広い御意見を伺うために開催しているワークショップでは、世代を超えた多くの市民の皆様市政に対する熱い思いをいただいております。

こうした取組だけに限らず、来年も、市民の皆さんの声に耳を傾け、そして御協力をいただきながら、チーム山口で本市の未来を確かなものとする「トライ」を続けていきたいと思っております。

山口市長 渡辺純心

山口市長 渡辺純心

